



学童保育の連絡協議会とは

編集部

学童保育の連絡協議会は、交流・学習・研究を通じて学童保育の改善に向けた取り組みを進める組織です。

「学童保育連絡協議会」（以下、連絡協議会）という名称のほかに、「学童保育の会」「放課後児童クラブ連絡会」などの名称が使われている地域もありますが、基本的な目的と役割は同じです。「情報交換や交流・連絡」とあわせて、「学童保育運動がこれまで培ってきたこと」や「国や自治体の施策」を学習し、課題解決の手立てを共に考え、具体的な取り組みを進める役割を担っています。

市区町村（以下、市町村）の学童保育連絡協議会、都道府県の学童保育連絡協議会、そして全国学童保育連絡協議会がありますので、それぞれについて説明します。

〈市町村の学童保育連絡協議会〉

市町村の連絡協議会は、「ほかの学童保育や保護者会・父母会はどのように運営しているのか知りたい」「情報交換や交流を図りたい」という保護者・指導員の思いや

願いと、共通の課題（例えば補助金の増額や施策拡充など）について、まとまって行政に要望する必要性から生まれました。個々の保護者会・父母会、保護者・指導員が連絡協議会を通じてまとまり、市町村の学童保育全体の課題として要望することで、より大きな力を発揮することができます。

各所の現状を交流したうえで課題を共有し、改善に向けた情報交換を行い、要望をまとめて行政に届けることなどを通じて、学童保育の改善に取り組んでいます。

〈都道府県の学童保育連絡協議会〉

都道府県の連絡協議会の多くは、市町村の連絡協議会で構成されています。主な役割は、各市町村の学童保育関係者が情報交換を行い、学びあう場を設け、各地での改善に向けた取り組みを支えることです。

都道府県には教育や福祉などの面で地域間格差を是正していく、国の施策を具体化して推進するなどの役割が